

# 都市再生整備計画 事後評価シート

ともべ えきしゅうへん ち く  
友部駅周辺地区

平成31年2月

いばらきけん かさまし  
茨城県笠間市

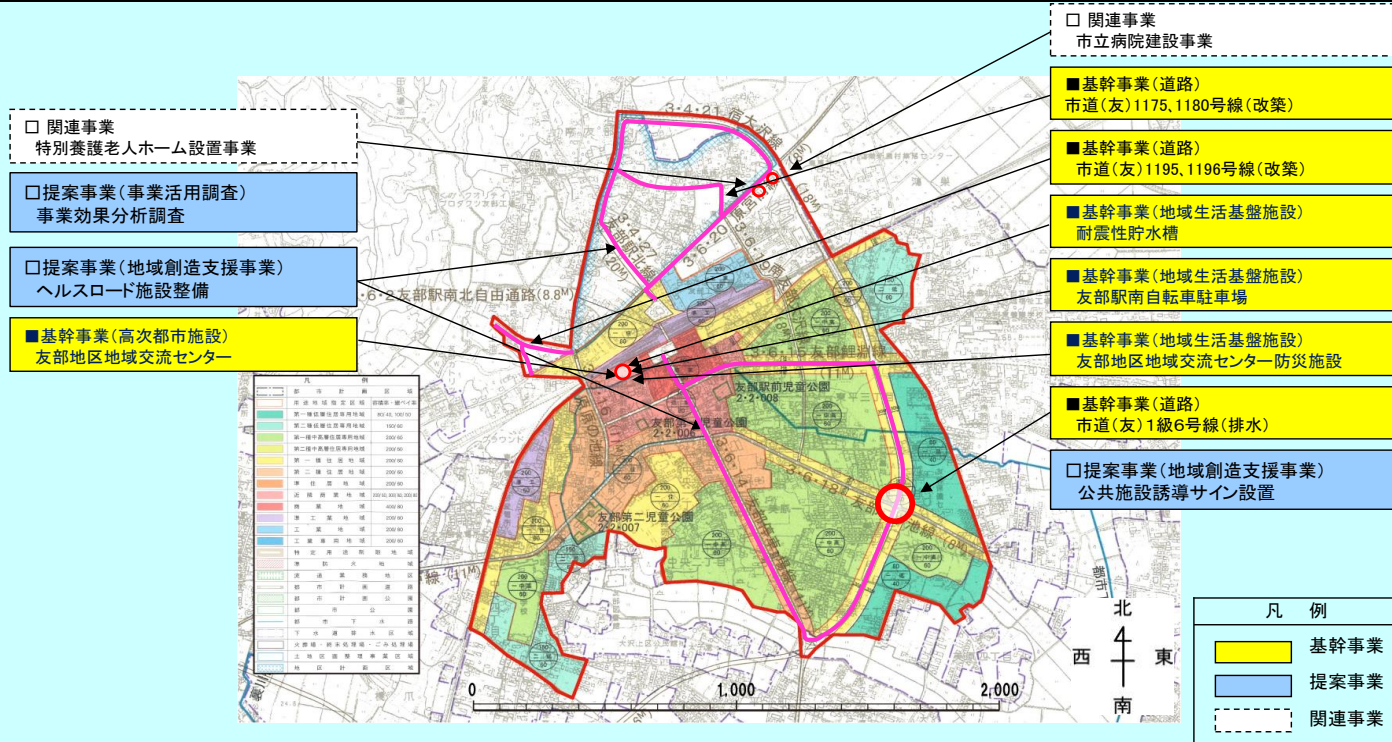
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	茨城県	市町村名	笠間市	地区名	友部駅周辺地区			面積	234ha					
交付期間	平成26年～平成30年	事後評価実施時期	平成30年度	交付対象事業費	1,052百万円	国費率	0.4							
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	事業名 <input type="checkbox"/> 友部地区地域交流センター <input type="checkbox"/> 友部駅南自転車駐車場 <input type="checkbox"/> 市道(友)1175.1180号線(改築) <input type="checkbox"/> 道路事業:市道(友)1195、1196号線(改築) <input type="checkbox"/> 道路事業:市道(友)1級6号線(排水) <input type="checkbox"/> 耐震性貯水槽 <input type="checkbox"/> 友部地区地域交流センター防災施設											
		提案事業	<input type="checkbox"/> 事業効果分析調査 <input type="checkbox"/> ヘルスロード施設整備事業 <input type="checkbox"/> 公共施設誘導サイン設置事業											
	当初計画から削除した事業	基幹事業	事業名		削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響						
		提案事業	事業名		削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響						
		基幹事業	事業名		削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響						
		提案事業	事業名		削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響						
新たに追加した事業	基幹事業	事業名		削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響							
提案事業	事業名		削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響								
交付期間の変更	当初	平成26年～平成30年	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-									
変更	-		-		-									
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値							
	指標1	NPO法人等活動団体数	団	149	H24	160	H30	-	204.0	○	あり	-	市民活動への参加に対する啓発が進むとともに、笠間市地域交流センターともべ「Tomoa」が整備され、同施設を活動の場として利用する団体が増加した。	-
	指標2	定期的な運動習慣	%	33.9	H23	35.0	H28	-	40.0	○	あり	-	ヘルスロードの整備に伴い、ウォーキングイベントの開催等を行うことによって、市民の認知度が向上し利用が促進されている。	-
	指標3	狭あいな道路の解消数	件	0	H25	102.0	H29	-	118.0	△	あり	●	計画に位置づけられた路線の道路改良が進んだことにより、宅地へアクセスする道路の狭あいな区間が解消されており、事後評価時点で完了していない区間の整備により、指標の達成が見込まれる。	平成31年7月1日
指標4	良好な市街地が形成されてきていると感じている市民の割合	%	36.19	H24	38.70	H30	-	38.68	△	あり	●	本市の玄関口である友部駅周辺において、本事業による基盤整備が進むとともに、笠間市地域交流センターともべ「Tomoa」が開設されたことにより、利便性と賑わいのある市街地環境が創出されたと感じる市民の割合が多くなっている。南友部地区での市道整備の進捗や、笠間市地域交流センターともべ「Tomoa」が市民に浸透することにより、指標の達成が見込まれる。	平成31年7月1日	
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値							
	その他の数値指標1	笠間市地域交流センターともべ「Tomoa」の利用者数	人	65,592	H29	-	-	68,000	○	あり	あり	笠間市地域交流センターともべ「Tomoa」の開設後、認知度の向上や講座の充実に伴い利用者数の増加がみられ、市民の交流の場として活用されている。	平成31年7月1日	
その他の数値指標2	友部地区居住者のうち「良好な市街地が形成されてきていると感じている市民の割合」	%	36.86	H25	-	-	40.00	○	あり	-	友部駅周辺において、本事業による面的な事業の実施や関連事業である、地域医療センターかさまの整備が行われたことにより、駅周辺の拠点性の向上と来街機会の増加が図られたことにより、市街地環境に対する満足度が向上した。	-		
4) 定性的な効果発現状況														
5) 実施過程の評価	実施内容			実施状況						今後の対応方針等				
	モニタリング	-		都市再生整備計画に記載し、実施できた						-				
		-		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した						-				
		-		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						-				
	住民参加プロセス	個別事業に関する説明会等の開催		都市再生整備計画に記載し、実施できた						-				
	-		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した						●					
	-		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						-					
持続的なまちづくり体制の構築	笠間市地域交流センターともべ「Tomoa」の運営		都市再生整備計画に記載し、実施できた						-					
	-		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した						●					
	-		ヘルスロードを活用したイベントの開催						-					
	-		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						-					

## 様式2-2 地区の概要

### 友部駅周辺地区整備計画の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
	指標	単位	従前値	目標値	従前値	目標値	従前値	目標値
大目標 健康都市づくりを目指したコンパクトシティ 小目標① 多くの世代が行き交う賑わいの創出 小目標② 医療・福祉が連携した健康の増進 小目標③ 来街者・駅利用者及び地域住民の利便性向上	NPO法人等活動団体数	団	149	H24	160	H30	204	H30
	定期的な運動習慣	%	33.9	H23	35.0	H28	40.0	H28
	狭い道路の解消数	件	0	H25	102	H29	118	H30
	良好な市街地が形成されてきていると感じている市民の割合	%	36.19	H24	38.70	H30	38.68	H30



#### まちの課題の変化

○拠点となる笠間市地域交流センターとも「Tomoa」の利用を動機とした来街者が増加しているが、既存の商店との連携や空き店舗の利用促進が課題となる。  
○地域医療センターかさまの開設やヘルスロードの整備により、健康づくりに取り組むまちとしてのイメージが形成されたが、今後一層の拠点性向上に取り組むため、市庁舎や図書館周辺との連携を強化する必要がある。  
○道路や貯水槽の整備により、市街地の利便性や安全性が向上したことから、市街化促進に取り組む必要がある。

#### 今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

○今後のまちづくりでは、人口減少や高齢化に対応するため、駅周辺市街地では都市機能や居住機能の充実が重要になることから、本事業による整備効果を生かしながら、拠点性と利便性を高める施策展開が必要である。  
○現在策定している、都市計画マスタープラン、立地適正化計画においては、本事業による効果を踏まえつつ、友部駅周辺地区の将来的なビジョンを描くことが必要である。